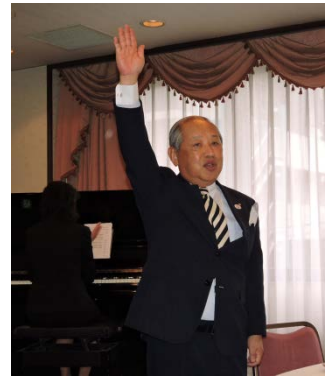




人類に
奉仕する
ローター



守口ロータークラブ 週報 No. 12



古城 紀雄 様 (千里RC)

経済と地域社会の発展月間
米 山 月 間

2016~17・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1、ダニーボーイ 2、里の秋 3、ゴットファーザー

本日例会 2016年10月12日(水)
(第2689回)

「守口ローターアクトクラブで学んだ事」
～これからの門真の課題について～
門真市長 宮本 一孝様
担当：親睦活動委員会

次回例会 2016年10月19日(水)
(第2690回)

「ロータリー情報アンケート調査」
中道 均 会員
担当：ロータリー情報委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
10月05日	27 (内免除者1名)	14	65.85%【会員42名】
09月14日	32 (内免除者2名)		メイクアップ2名 (80.00%)



水谷 出席・プログラム委員長

前回例会 (2688回) 10/05 の主な内容

親睦活動委員会 上田副委員長



◎ゲストご紹介
本日の卓話講師
(地区米山奨学委員長)
古城 紀雄 様 (千里RC)



◎誕生日お祝い

西原 房三 会員 深田 清一 会員 平沼 雅一 会員
篠崎 満伸 会員 神田 隆司 会員



◎幹事報告 (幹事 石谷 隆子)
1、守口市広報「自殺防止最前線シンポジウム」
開催日訂正のご案内
誤⇒10月22日(土) 正⇒10月15日(土)
2、博多会員の新聞記事ご紹介



◎会長の時間 (会長 三浦 均)

卓 話 古城 紀雄 様
(地区米山奨学委員長)



「エスカレーターの名古屋ルール」

「エスカレーターに乗る際は、急ぐ人のために片側を空けておく」というのは「大人のマナー」としてすっかり社会に定着している。

(～次ページに続く～)

「米山奨学事業の現状と新しい流れ」

平素は「米山奨学事業」に対して多大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。またこの度は貴クラブでの卓話の機会をいただき、誠にありがとうございました。

(～次ページに続く～)



ニコニコBOX S・A・A

古城 紀雄 様 (千里RC)
 本日は卓話の機会いただき有難うございました。宜しくお願ひ致します。
 石井 会員 大隅教授のノーベル賞受賞決定に敬意を表して。

10/05ニコニコBOX 363,000円

◇◇◇委員会報告◇◇◇

○社会奉仕委員会 (博多副委員長)
 「自殺防止最前線シンポジウム」ご案内
 日時：10月15日(土) 13:00～15:30
 場所：守口文化センター(守口エナジーホール)
 (ご出席宜しくお願い致します。)

◇◇◇委員会だより◇◇◇

職業分類・会員選考委員会(持ち回り)
 日時：10月5日(水) 12:00～
 場所：例会場
 議題：新会員(出田氏職業分類について)

◇◇◇第4回理事会だより◇◇◇

日時：10月5日(水) 13:40～
 場所：「事務局」出席：12名
 議題：新会員推薦の件
 ・人権カレンダー協賛金の件
 ・次々年度理事役員・次年度理事役員選出のための選考委員選出の件
 ・親睦活動委員会の行事予定について

◎会長の時間

(～前ページからの続き～)

江戸川大学社会学部の斗鬼正一教授によれば、その始まりは、1944年頃ロンドンの地下鉄で混雑緩和のために考案され、左側を空ける習慣が定着したという説が有力だという。その後片側空けは世界中に広まり、今や世界標準の習慣になった。

日本でも、大阪、神戸など近畿圏で「右立ち・左空け」、東京、札幌、福岡などの地域で「左立ち・右空け」と、左右の違いはあるものの、エスカレーターの「片側空け」の習慣が常識となっている。

しかし、名古屋では「両側立ち・歩かない」という独自のルールが根付いている。そのため、日本中から「マナーをわきまえない名古屋ルール」と揶揄されてきた。

ところが、「片側空け」発祥の地イギリスで、今年5月、衝撃的論文が発表された。ロンドン交通局が、右側立ちの「片側空け」と、「両側立ち」の比較実験を行った。結果、1時間に運ぶ人数が「片側空け」が2,500人、「両側立ち」が3,250人と、「両側立ち」が3割増しの数字を記録した。「片側空けの起源とされるイギリスで「名古屋ルール」の方が効率的だと証明されたのだ。

しかも、「片側空け」は非効率的だというだけでなく、危険性も指摘されている。日本エレベーター協会の事務局は、「エスカレーターは横幅が狭く、段差が高いなど、そもそも歩かないことを前提に設計されている。立ち止まって手すりにつかまるのが正しい乗り方です。」という。

実はエスカレーター関連の事故で11年から3年間で3865人が救急搬送されている。全国のJR、私鉄、空港などでは7月19日から「両側立ち・歩かない」のキャンペーンを始めた。

全国でもいち早く同様の注意を喚起していたのが名古屋市だった。市営地下鉄では04年からエスカレーターでの歩行禁止をアナウンスしている。

名古屋では江戸時代から工業が発達し、世界のトヨタまで生まれた。名古屋人は情でなく、道理でものを考える文化が有った。だから揶揄されても安全で多く運べる乗り方を取り入れたといえる。

「名古屋流」の乗り方が日本はもちろん世界のスタンダードになるかもしれない。

卓 話

(～前ページからの続き～)

本事業が米山梅吉翁の遺徳を偲びつつ、1954年にスタートして62年間が経ちました。この間、先輩ロータリアンの方々の間断なき努力の結果として、今や日本のロータリアンがその理念を目に見える形で実践できる有用な事業と認識されるようになってきました。19,000人を超す元奨学生(米山学友)からはすでに3人のガバナーが輩出しており、また少なくとも220人がロータリアンとなっています。

指定校からの奨学生候補者推薦制度、世話クラブ・カウンセラー制度など、事業の骨格もその意義を十分に発揮し、来年は財団法人化50周年の記念の年を迎えます。上述のように、この事業が、世界からの留学生と心を交わし合い、遠い将来へ向けて世界平和を希求する息長い日本発のロータリー運動として、年々活発に展開されつつありますことは同慶の至りと考えております。

申すまでもなく、奨学生への支援は、ロータリアンの皆さんから毎年いただく寄付を源泉としています。最近、当地区では、おひとり30,000円(普通寄付と特別寄付の合計)をお願いしていますが、本年の松本DGにおかれても3月のPETS、4月の地区研修協議会において、当地区での米山事業への寄付について、「普通寄付と特別寄付の合計目標をひとり30,000円とする」および「今後は複数世話クラブ制度の活用を促進する」とのガバナー方針を明示されました。地区委員会としてもこの方針が達成されるように精いっぱい汗をかくこととしています。

この62年間、本事業はいくつかの変更が行われています。「救貧型」という初期の趣旨は2000年頃に「ロータリアンと協働できる優秀な人材育成型」になりました。加えて、「表彰制度」の改訂も行い、さらに、最近では「多様な国々からの奨学生採用」に留意し、海外からの直接応募も可能にするなどの新しい流れも実施されてきています。また、従来「特別寄付者の割合」については地区への奨学生配置数の算定に考慮されていませんでしたが、今年度の寄付状況から算出される再来年4月配置から、この特別寄付者割合も算定基礎データとして「新たに」考慮されることになりました。

この「特別寄付者割合」につき当地区の前年度実績をみますと71.4%に留まり、残念ながら28.6%の会員におかれて特別寄付ゼロという状況でした。今年度は30,000円の目標の達成とともに、より多くの会員から特別寄付をお願いしたいと考えております。

資料によりますと守口RCにおかれては4年後に創立60周年をお迎えになる由緒あるクラブであり、今までの受入れ奨学生が累計9名に上っておりますが、残念ながらここ3年間は連続して世話クラブとなっていないでいます。本年度よりは松本DGの方針に呼応いたたき、本事業にさらに前向きに取り組んでくださることをどうかよろしくお願い申し上げます。